

城崎文芸館

# 重陽の節句

## 秋の演奏会

菊の花を愛でながら  
津軽三味線 & アイリッシュ音楽の競演、  
さらにバンジュー、歌が加わる  
珍しいコラボレーションによる宴。

無料入場

開催日/平成22年10月27日(水)  
開場/AM10:00 開演/AM11:00  
場所/城崎文芸館

津軽三味線・ピアノ奏者

久保比呂誌

神戸生まれ。幼少よりピアノを始め、日本大学芸術学部音楽科で作曲を専攻する。作曲家、ピアニストとして活動していたが、故、初代・高橋竹山師の「津軽じょんから節」に感銘を受け、津軽三味線を始める。独学の後、竹山節本流継承者、田中竹仙(ちくせん)に入門。90年より津軽三味線の演奏活動始める。自らのユニットを結成し、三味線、ピアノ、作曲を担当。幅広くコンサート活動を展開する。'95年、阪神大震災で須磨の自宅が全焼、すべてのものを焼失して大阪に転居。'98年より海外での演奏も行うようになり、イタリアドイツでコンサートを行う。ニューヨーク、ハワイでは、ダンス公演に世界的和太鼓奏者、ケニー遠藤と共にゲストプレイヤーとして出演。

現在、「津軽三味線とピアノ」を演奏する異色のスタイルで、TV、ラジオ出演や各地のホール、酒蔵、学校等でのコンサートを開催。あらゆる楽器、ジャンルとのコラボレーションを行う。またオリジナル曲の制作、ダンス・日本舞踊公演、歌劇団公演、等の舞台音楽を担当する等、作曲家として積極的に活動している。ソロのCDは「風の行方」「こもれび」の2枚をリリース。毎年、企画、構成、演奏を手掛ける「茨木未来コンサート」は16回目を迎える。



シンガーソングライター  
バンジュー奏者

北村 謙



'51年京都生まれ'71年はだのりひことエンドレスに参加。後にばっくすばにい結成、KBS京都・MBSヤングタウン等でDJ活動。'01年日本で唯一の「バンジュー弾き語り」としてのソロ活動「Banjoひとり旅」を開始。同時に琴・三味線・胡弓などの和楽器とのコラボレーションにも積極的に参加。'03年には落語家桂九雀を迎え京都上七軒歌舞練場で「北村謙一座」を旗揚げ。この講演で自作の妖怪落語「家の妖怪」「闇の粒」が好評を博す。舞台の音楽監督、コンサートプロデューサーなど多方面で活躍しながら、ユニットやソロで多数のアルバムを制作し、アーティストとして作品を発表し続けている。

管楽器奏者

金子 鉄心



'86年、ロックバンド「おかげ様ブラザーズ」のサクソ奏者としてメジャーデビュー。その後、ケルト音楽などの影響を受け、'98年、ギタリストの押尾コータロー氏等と共に、アイリッシュ&ミュゼットバンド「オーサカ・エグザイル」を結成する。また、サクソ以外にも、イーリアン・パイプス(アイルランド式バグパイプ)やティン・ホイッスル、ケーナ、尺八などの管楽器を用いて、様々なジャンルのアーティストのコンサートのサポートやレコーディング、舞台の音源制作などを手掛ける。現在、ヨーロッパの大衆音楽を演奏するグループ「輪座(ふいござ)」を主宰、アルバムを3枚発表している。

### イベント内容

- 11:00~12:30 【第1部】久保比呂誌&金子鉄心  
津軽三味線・ピアノ・  
世界の笛のソロ&コラボレーション
- 12:30~13:30 休憩
- 13:30~14:30 【第2部】北村 謙 Banjo ひとり旅  
歌&トーク
- 14:30~15:00 北村謙・久保比呂誌&  
金子鉄心コラボレーション

露店

- きのさきバーガー
- 重陽の節句記念弁当
- ジョー君カレー
- サキちゃんコロッケ
- 舞ちゃんドーナツ

当日は露店が  
ございます。  
ぜひご利用  
ください。



館内では  
菊茶の接待が  
ございます

主催・城崎温泉観光協会 後援・城崎文芸館

〒669-6101 豊岡市城崎町湯島357-1 TEL.0796-32-3663  
<http://www.kinosaki-spa.gr.jp/>